

「英文テクニカルライティング 読み手の心を動かすレトリック入門」

初版第1刷 正誤表

1. p 5. 下から11行目 機会いただき → 機会をいただき
2. p 14. 上から1行目 テクニカル・ライティング ⇒ テクニカル・ライティング
3. p 55. 上から11行目 (p.137 参照) → (p.140 参照)
4. p 83. 下から10行目 分析法を使用されている。→分析法が使用されている。
5. p 103. 上から7行目 非金蔵物 → 非金属物
6. p 103. 上から8行目 (→比較対象法)。→ (→比較対照法)。
7. p 105. 上から4行目 (→比較対象法)。→ (→比較対照法)。
8. p 112. 上から2行目 ツールである。→ツールである (→定義法)。
9. p 112. 上から4行目 データベースである (→定義法)。→データベースである。
10. p 112. 下から7行目 この前ページの → 上記の
11. p 143 上から6行目 [→ (1) のステップ: 定義法による結論 (要約文) + 背景 + 目的] → [→ (1) のステップ: 定義法 (要約文) + 背景(要約ステートメント)]
12. p 146. 上から3行目 (p.67) → (p.68)
13. p 177. 下から4行目 係長訓練 → 監督者訓練
14. p 204. 上から6行目 “one word-one meaning” → “one word = one meaning”
15. p 204. 下から1行目 Allright reserved → All rights reserved.